

# 会費改定にご理解をお願いいたします。

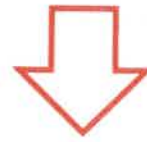
長年の貯金の  
取り崩し。。。

毎年約 **510万**

さらには、運営に充てられてきた

毎年 **約250万**

の経費充当資金積立金が・・・



令和3年度末で**ゼロに!**

※平成28年度～令和元年度の平均（正味財産増減計算書より）

★  
会費の  
経緯  
★

平成16年 102円から130円に値上げ

平成25年 従来の「児童生徒数」での徴収から、「会員数(世帯数)」での徴収へ変更

これにより、約300万円の減収



平成16年の値上げ以降の物価上昇や消費税増税、人件費の上昇、平成25年の算定数改定による減収。その  
ような中、**負担を増やさないよう、会費の改定を行わず、各種基金を取り崩しながら運営努力してきた。**

今後・・・

①経費充当資金積立金が終了

・・・

令和4年度から256万の収入がゼロに

②会員数は減少の見込み

・・・

会費収入及び保険手数料の減収

③16年間の会費据え置き限界

・・・

各種基金の残高減少への対応

県P会館の補修及び修繕費用の捻出

現状のままでは・・・

**今後の運営がかなり厳しい状況に・・・**

対策として

改定の議論の前に!

予算や事業の見直しを図るため・・・

昨年度「**事業検討委員会**」設置

★人件費の削減 → **約70万円以上の削減**  
昇給及び賞与の削減、昇給停止年齢等の導入  
理事員数の削減による各手当の経費削減

⇒ **年間約240万**

★童話お話大会の改革と県P大会の見直し → **約120万円の削減**

童話お話大会 → 男女別開催をなくし、一会場での開催による経費削減

県P大会 → 分科会を減らし、会場費及び各種手当の経費削減

★収益事業(駐車場の貸出他)の開始 → **約50万円の収入増**

経費調整可能に!

それでも・・・

**510万**  
には届かず

そこで・・・

①510万-240万=270万の不足 →  $270万 \div 12万会員 = 22.5円$

②県P会館の雨漏り・消防設備の修繕・消防法にかかる法定点検

= 約900万円の見積(修繕積立358万を差し引くと、残り550万ほど)

→  $550万 \div 12万会員 \div 4年間 = 11.5円$

③取り崩してきた「沖縄県PTA基金」及び「研究大会基金」等各種基金の健全化を図るための補填

→  $毎年32.4万円 \div 12万会員 = 2.7円$

④先輩たちが残した「経費充当積立資産」のおかげで運営できた部分も。

次世代の運営が困らないよう、長期的視野を持った積立を。

→  $毎年100万円 \div 12万会員 = 8.3円$

これまで、財政状況を改善することなく運営してきたのは県P連当局の責任であり、大変申し訳なく思います。これまでの事業検討委員会での議論の結果、改定をお願いせざるを得ないという結論に至り、令和2年度社員総会において、改定については議決されました。

上記を踏まえ、改定額については・・・**22.5円 + 11.5円 + 2.7円 + 8.3円 = 45円**となり、

これまでの会費(年間) **130円**



改定額(年間)

**175円**

への改定をお願いすることとなりました。ご理解の程、よろしくお願いいたします。